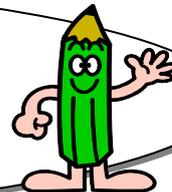




カンムリウミスズメ

# ふれあい

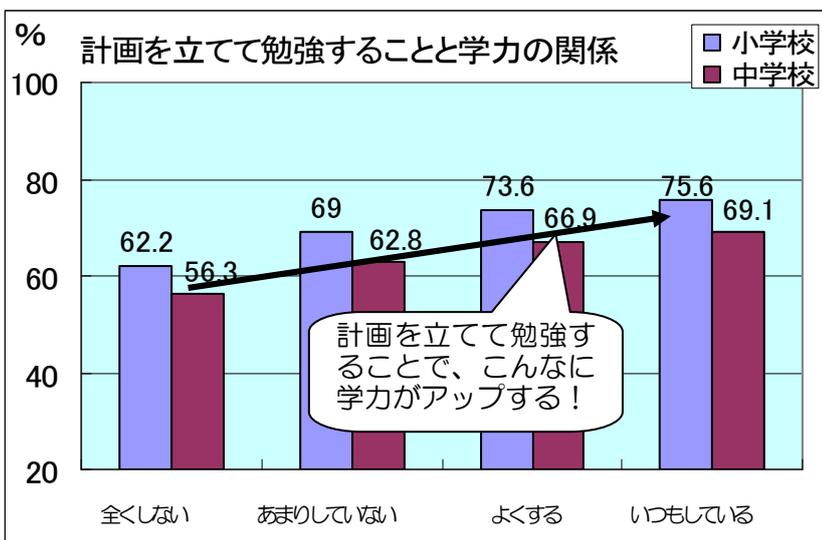
夏休みは、自分から勉強する力をのばす、チャンスです！  
夏休みの家庭学習を充実するために、子どもたちをサポートする  
“4つの工夫”を紹介します。



夏休みに、“グングン”力を伸ばすための、4つのポイント！

## 1 夏休みマイプランをつくって、目標をもたせましょう！

平成22年度全国  
学力調査結果より



全国学力調査の結果、小学6年・中学3年とも、計画を立てて勉強している子どもの方が、そうでない子どもに比べて、国語・算数(数学)で、約10%以上もの学力差がありました。

この結果から、自分で計画を立てて勉強することが、学力につながっていることがわかります。夏休みは、計画を立てて勉強する力を身に付ける、チャンスです。

6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	⑩	11
睡眠	朝食など	自由	起きる時刻と朝食の時刻で一日の生活が決まります！	勉強	勉強	昼食など	自由(勉強)	手伝いは一日のどこかに、必ず入れます！	手伝い	夕食など	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	寝る時刻は変えませんか！	睡眠

### 夏休み計画づくりのポイント

- ① 起きる時刻、寝る時刻は変えません。
- ② 食事の時刻は、決めておきます。
- ③ 夜の勉強は必ず入れます。
- ④ テレビやゲームのルールをつくります。
- ⑤ 午前中・午後にも勉強を入れます。

### 子どもへのサポートポイント

- ① 計画づくりにアドバイスします。
- ② 学年に応じて、点検や声かけをします。
- ③ 食事をしっかりとらせるようにします。
- ④ 必ず手伝いをさせるようにします。
- ⑤ 決まった場所で勉強させます。
- ⑥ 時計を準備して、時間を意識させます。

## 2 常に、見守り・声かけを心がけましょう！



### 子どもとの関係の原則

- 小学校下学年** することを指示したり、したことをチェックしたりして、よく教えます。
- 小学校上学年** わからないことはアドバイスしたり、ヒントを与えたりして、自分でさせます。
- 中学校1~3年** 必要によって相談にのりますが、見守りや声かけを大切にします。

一番してはいけないことは放任、それから、干渉のし過ぎです。子どもの年齢や発達に合わせて、常に関わりを持つように工夫することが大切です。

## 3 ほめる・励ます・アドバイスを大切にしましょう！

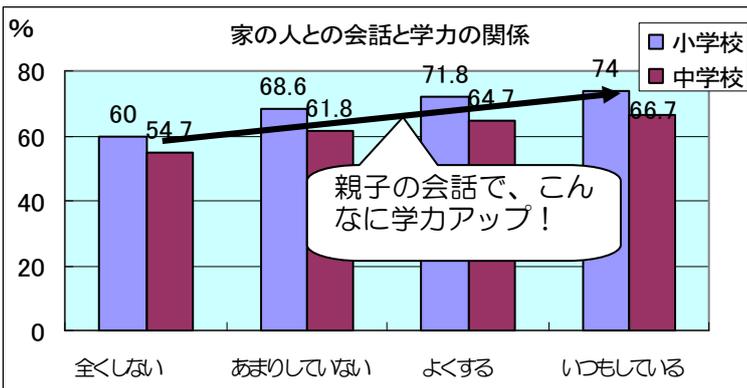


### 3つの魔法の言葉

- ほめる言葉** よくできたときは、心からほめます。少しでき時は、できたところをほめます。
- 励ます言葉** がんばったことを認め、今よりもう少し前進するように励まします。
- アドバイス** もう一度考えてみて、他の方法を考えてみて、など、考えることをうながすアドバイスをします。

その時だけ怒ってあとは放任が、一番よくありません。子どもは、ほめて伸ばすことが大切です。特に、親にほめてもらうことはうれしいものです。しっかりほめて、子どもを伸ばしましょう。

## 4 家族でいろいろな会話や体験活動をしましょう！



家族の会話やさまざまな体験活動は、学力と深く関係しています。同じ話題で会話をしたり、いっしょに体験したりすることが、家庭教育の基本です。親の言葉や行動が子育てに一番影響を与えます。

### 教育研究所からのアドバイス

子どもの学力を高めるためには、親の考えや態度、環境づくりが重要です。子どもが小さい時には、手をとって教えることが大切です。大きくなったら、手は離しますが目を離さないようにします。さらに成長したら、手も目も離しますが、心を話さないようにすることが大切です。

家庭教育は、子育ての中で一番大切なものです。学校の手が離れる夏休みこそ、「親力」を発揮するチャンスです。子どもがたくましく成長する夏休みになることを期待しています。

## 子育てや教育のことなどで、悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、  
教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）  
63-1566

~~~~返信欄（「ふれあい」への返信がありましたら、担任の先生へお届けください。）~~~~